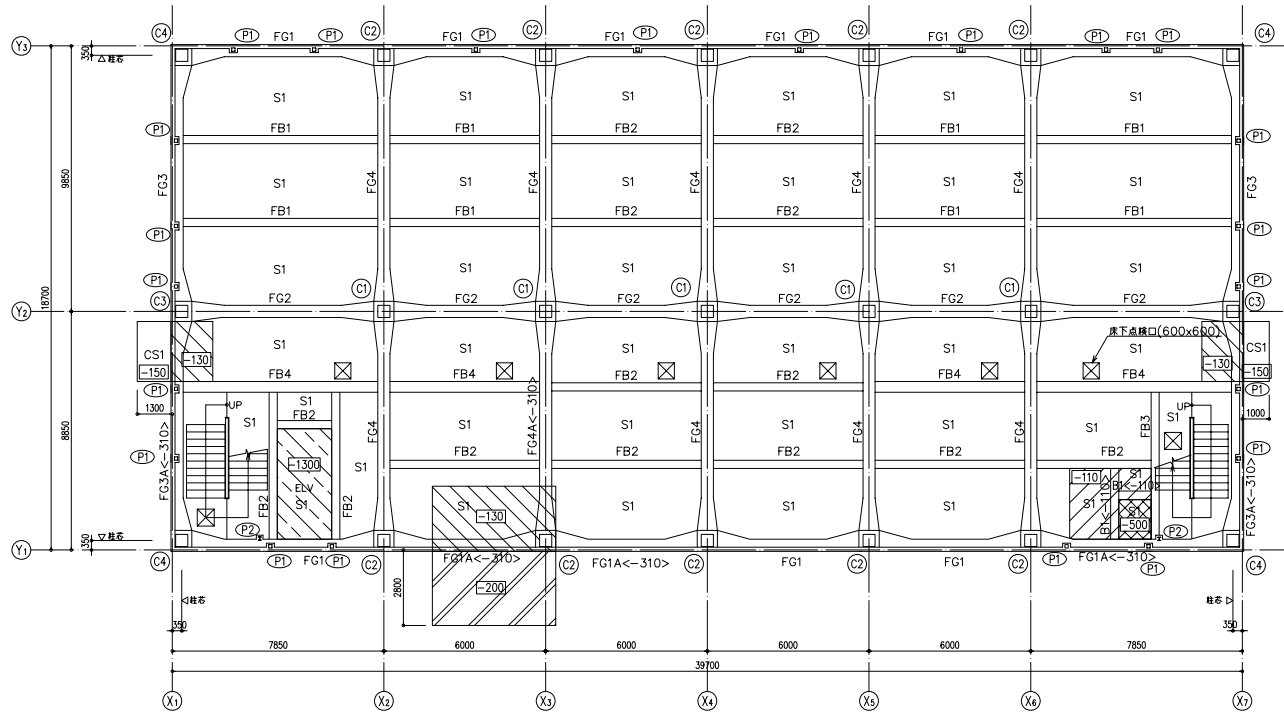


基礎・ピット伏図

<注記>特記無き限り下記とする。  
 1. 底板下掘レベル=GL-2260  
 2. [ ]はピット範囲をあらわす。  
 3. [ ]は人通り(600φ)を表す。

						件名	図面名称	図面番号
						構造設計図	基礎・ピット伏図	DS-01
						作成年月日	縮尺	File Name



1階床・梁伏図

- <注記>特記無き限り下記とする。
1. 1FL=GL+200
  2. スラブ天端レベル=1FL-10
  3. FG,FB梁天端レベル=1FL-160,
  4. □内数値は1FLからのスラブ天端レベルを示す。
  5. <>内数値は1FLからの梁天端レベルを示す。
  6. ▨は土留コールド(t=150)範囲を表す

件名	図面名称	図面番号
構造設計図	1階床・梁伏図	DS-02
作成年月日	縮尺	File Name

基礎梁断面リスト

<注記>特記書き限り下記とする。  
1.中止筋はD10@1000以内とする。

符号	FG1		FG1A		FG2		FG3			FG3A			FG4			FG4A		
	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部	Y3通端部	中央部	Y2通端部	Y1通端部	中央部	Y2通端部	Y1,Y3通端部	中央部	Y2通端部	Y1通端部	中央部	Y2通端部
断面																		
b x D	775 x 2300	450 x 2300	775 x 2150	450 x 2150	750 x 2300	450 x 2300	775 x 2300	450 x 2300	775 x 2300	775 x 2150	450 x 2150	775 x 2150	750 x 2300	450 x 2300	750 x 2300	750 x 2150	450 x 2150	750 x 2150
上端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	9-D25	4-D25	4-D25	9-D25	4-D25
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25	7-D25	6-D25	4-D25	8-D25	8-D25	4-D25	10-D25	8-D25	4-D25	10-D25
S.T.P	φD13@150	φD13@200	φD13@150	φD13@200	φD13@150	φD13@200	φD13@150	φD13@200	φD13@150	φD13@150	φD13@200	φD13@150	φD13@150	φD13@200	φD13@150	φD13@150	φD13@200	φD13@150
腰筋	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13
備考	水平ハンチは柱面よりL=1200		水平ハンチは柱面よりL=1200		水平ハンチは柱面よりL=1200		水平ハンチは柱面よりL=1200			水平ハンチは柱面よりL=1200			水平ハンチは柱面よりL=1200			水平ハンチは柱面よりL=1200		

基礎小梁断面リスト

<注記>特記書き限り下記とする。  
1.中止筋はD10@1000以内とする。

符号	FB1			FB2	FB3		FB4		
	X2,X6通端部	中央部	他端部	全断面	端部	中央部	X2,X6通端部	中央部	他端部
断面									
b x D	300 x 2300	300 x 2300	300 x 2300	300 x 2300	300 x 2300	300 x 2300	400 x 2300	400 x 2300	400 x 2300
上端筋	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22	6-D22	4-D22
下端筋	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22	4-D22
S.T.P	φD10@200	φD10@200	φD10@200	φD10@200	φD10@200	φD10@200	φD13@200	φD13@200	φD13@200
腰筋	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13
備考									

柱脚部断面リスト

符号	C1	C2	C3	C4	P1	P2
断面						
X x Y	750 x 750	750 x 775	775 x 750	775 x 775	300 x 300	1250 x 2-D16 1250 x D10@200
主筋	12-D25	12-D25	12-D25	12-D25	4-D16	4-D16
HOOP	φD13@100	φD13@100	φD13@100	φD13@100	φD10@100	φD10@100
備考						

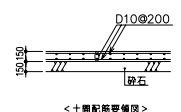
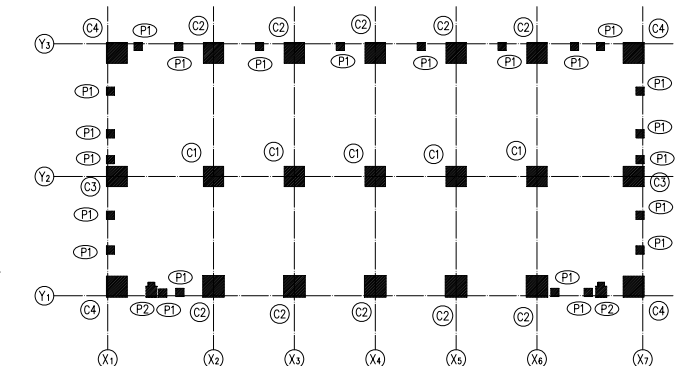
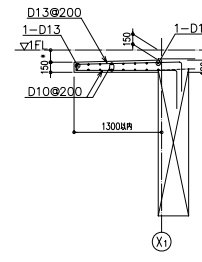
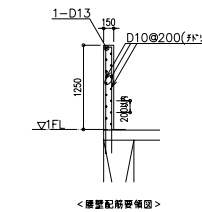
スラブリスト

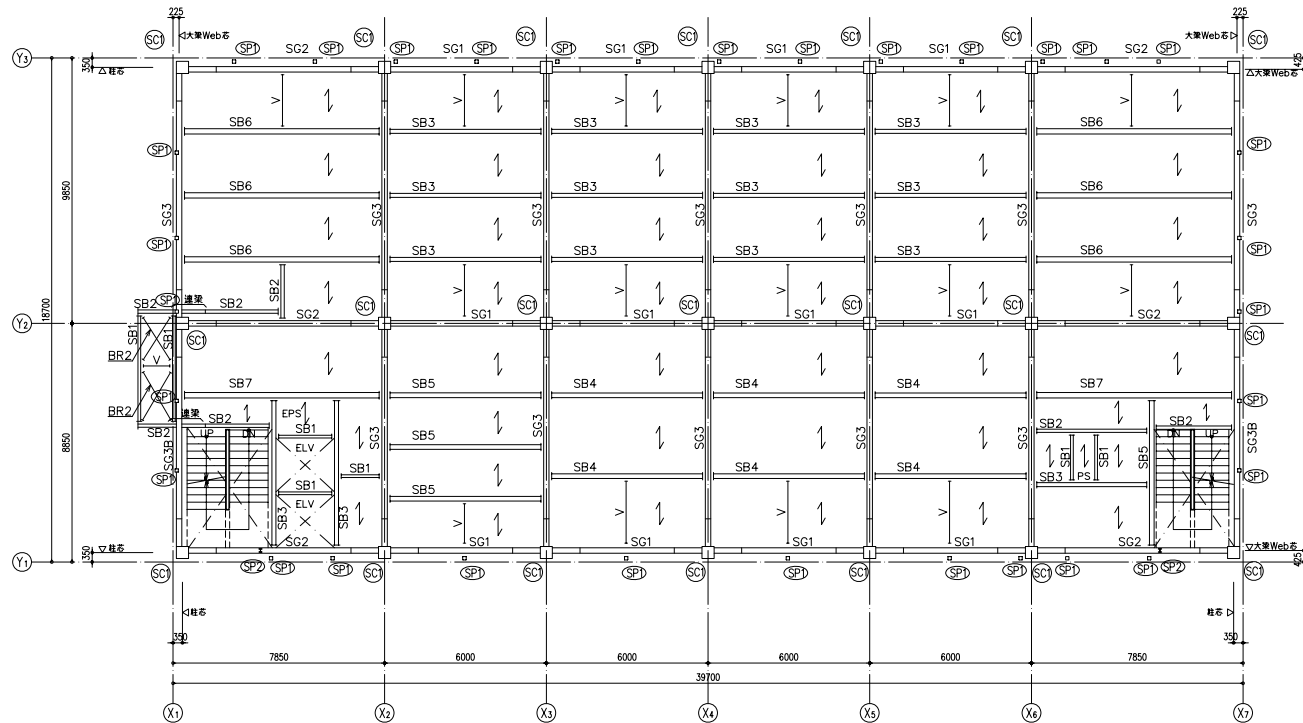
符号	厚さ	位置	短辺方向			長辺方向			備考
			柱間帯		柱列帯	柱間帯		柱列帯	
			端部	中央部	全断面	端部	中央部	全断面	
S1	150	上端筋	D10,D13@200	←	←	D10@200	←	←	
		下端筋	D10@200	←	←	D10@200	←	←	
FS1	250	上端筋	D13@200	←	←	D13@200	←	←	
		下端筋	D13@100	←	←	D13@200	←	←	

小梁断面リスト

<注記>中止筋はD10@1000以内とする。

符号	B1
位置	全断面
断面	
b x D	300 x 550
上端筋	3-D19
下端筋	3-D19
S.T.P	φD10@200
備考	

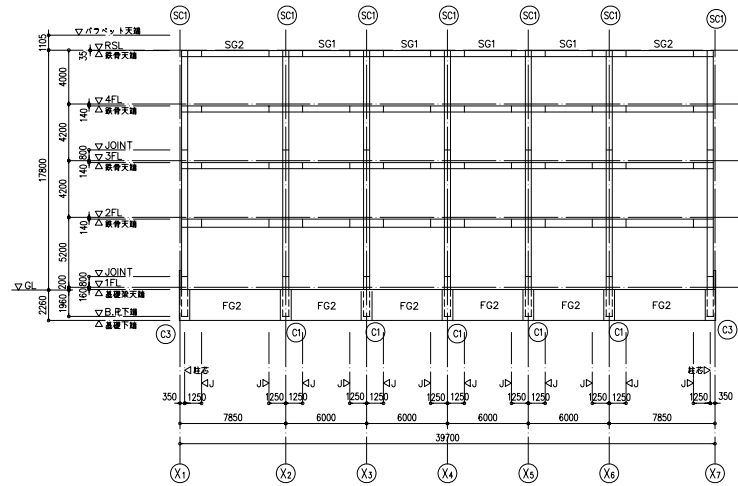




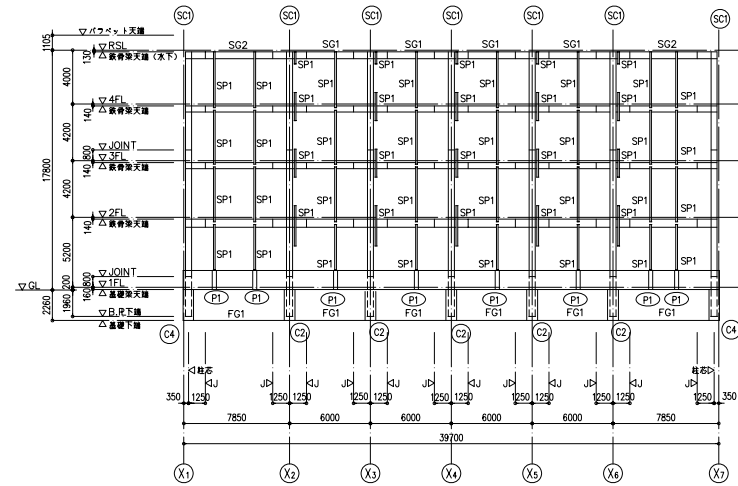
3階 床・梁伏図

<注記>特記無き限り下記とする。  
 1. スラブ天端レベル=3FL-10  
 2. 梁天端レベル=3FL-140  
 3. ← はデッキスラブ (DS1) の向きをあらわす。

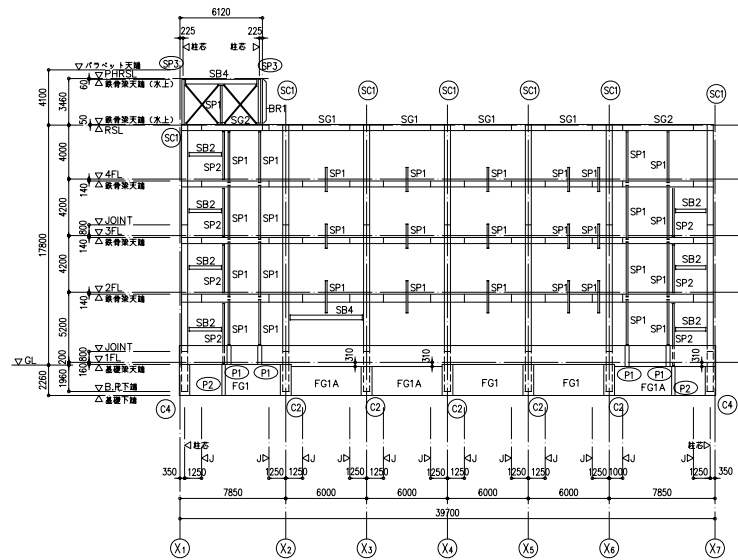
				件名	図面名称	図面番号
				構造設計図	床伏図 (2)	DS-06
				作成年月日	縮尺	File Name



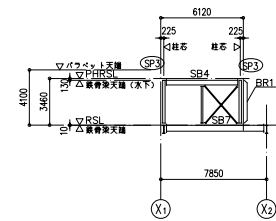
Y2通軸組図



Y3通軸組図

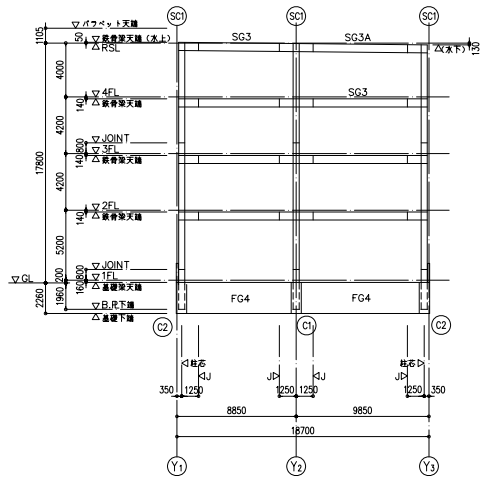


Y1通軸組図

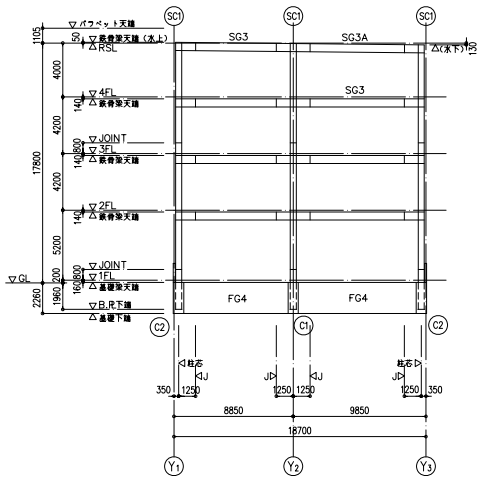


Y1+6600軸組図

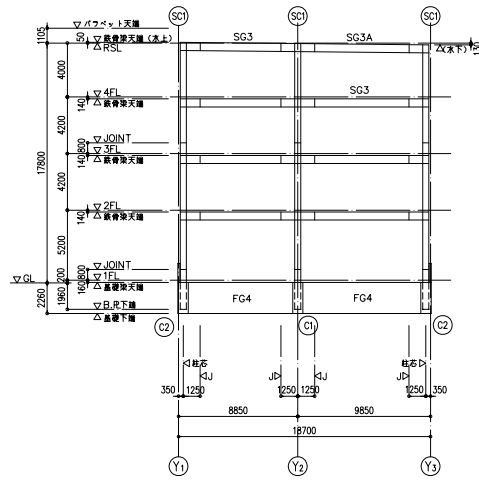
件名	構造設計図	図面名称	軸組図(1)	図面番号	DS-09
作成年月日		縮尺		File Name	



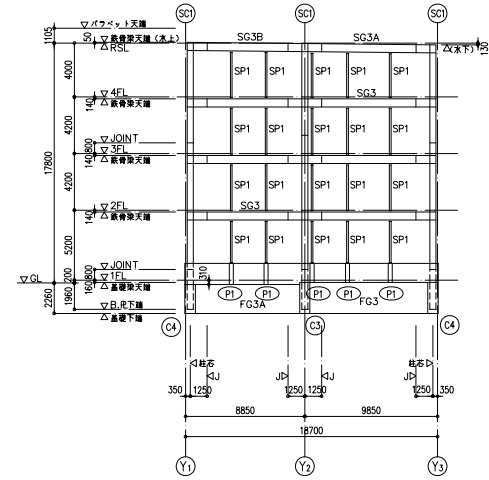
X4通軸組図



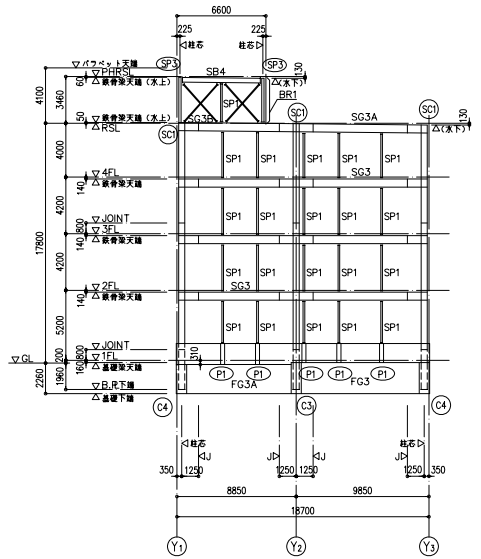
X5通軸組図



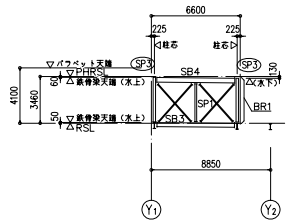
X6通軸組図



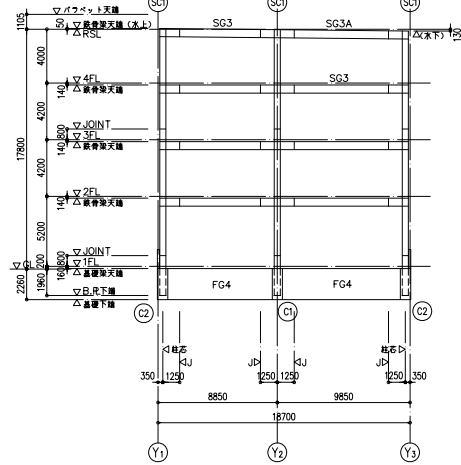
X7通軸組図



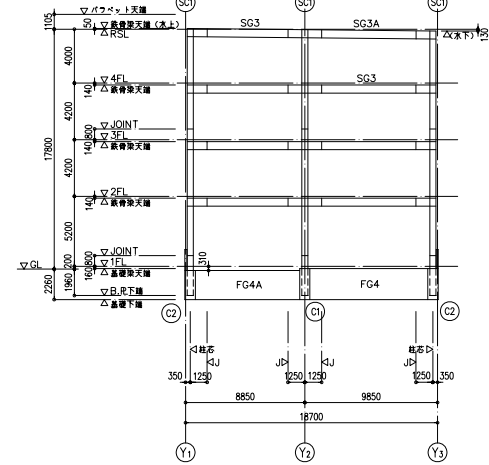
X1通軸組図



X1+6120軸組図



X2通軸組図



X3通軸組図

件名	構造設計図	図面名称	軸組図(2)	図面番号	DS-10
作成年月日		縮尺		File Name	

柱断面リスト <注記>特記無き限り下記とする。  
1.鉄骨の材質はBCR295とする。

符号	SC1	
4階		
鉄骨部材	□-450×450×12	
備考		
3階		
鉄骨部材	□-450×450×12	
備考		
2階		
鉄骨部材	□-450×450×16	
備考		
1階		
鉄骨部材	□-450×450×16	
備考		

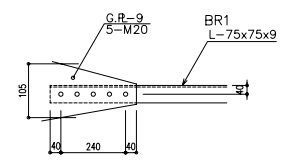
大梁断面リスト <注記>特記無き限り下記とする。  
1.鉄骨の材質は端部：SN400B,中央部：SS400とする。  
2.梁上及び下筋はφ16 (h=80) @300以内とする。

符号	SG1		SG2		SG3		SG3A		SG3B
	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部	
R階									
鉄骨部材	H-446x199x8x12	H-446x199x8x12	H-450x200x9x14	H-446x199x8x12	HY-600x200x12x22	H-600x200x11x17	HY-600x200x12x28	HY-600x200x12x22	HY-600x200x12x22
備考									
4階					同上				同上
鉄骨部材	HY-450x200x9x19	H-450x200x9x14	HY-450x200x9x19	H-450x200x9x14					
備考									
3階	同上		同上						
鉄骨部材					HY-600x200x12x25	HY-600x200x12x19			HY-600x200x12x25
備考									
2階									
鉄骨部材	H-600x200x11x17	H-596x199x10x15	HY-600x200x12x22	H-600x200x11x17	H-588x300x12x20	H-588x300x12x20			
備考									

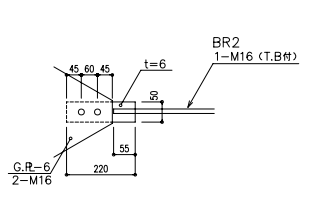
小梁・副部材断面リスト  
(注記)特記なき限り下記とする。  
1.鉄骨の材質はSS400とする。  
2.小梁上及び下筋はφ16 (h=80) @300以内とする。

	部材	備考
SB1	H-198x99x4.5x7	
SB2	H-248x124x5x8	
SB3	H-300x150x6.5x9	
SB4	H-346x174x6x9	
SB5	H-350x175x7x11	
SB6	H-396x199x7x11	
SB7	H-446x199x8x12	
SP1	□-125x125x6	
SP2	H-125x125x6.5x9	
SP3	□-175x175x9	
V	□-100x100x2.3	崖筋止め

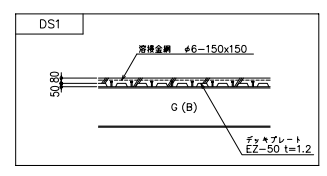
BR1接合要領図

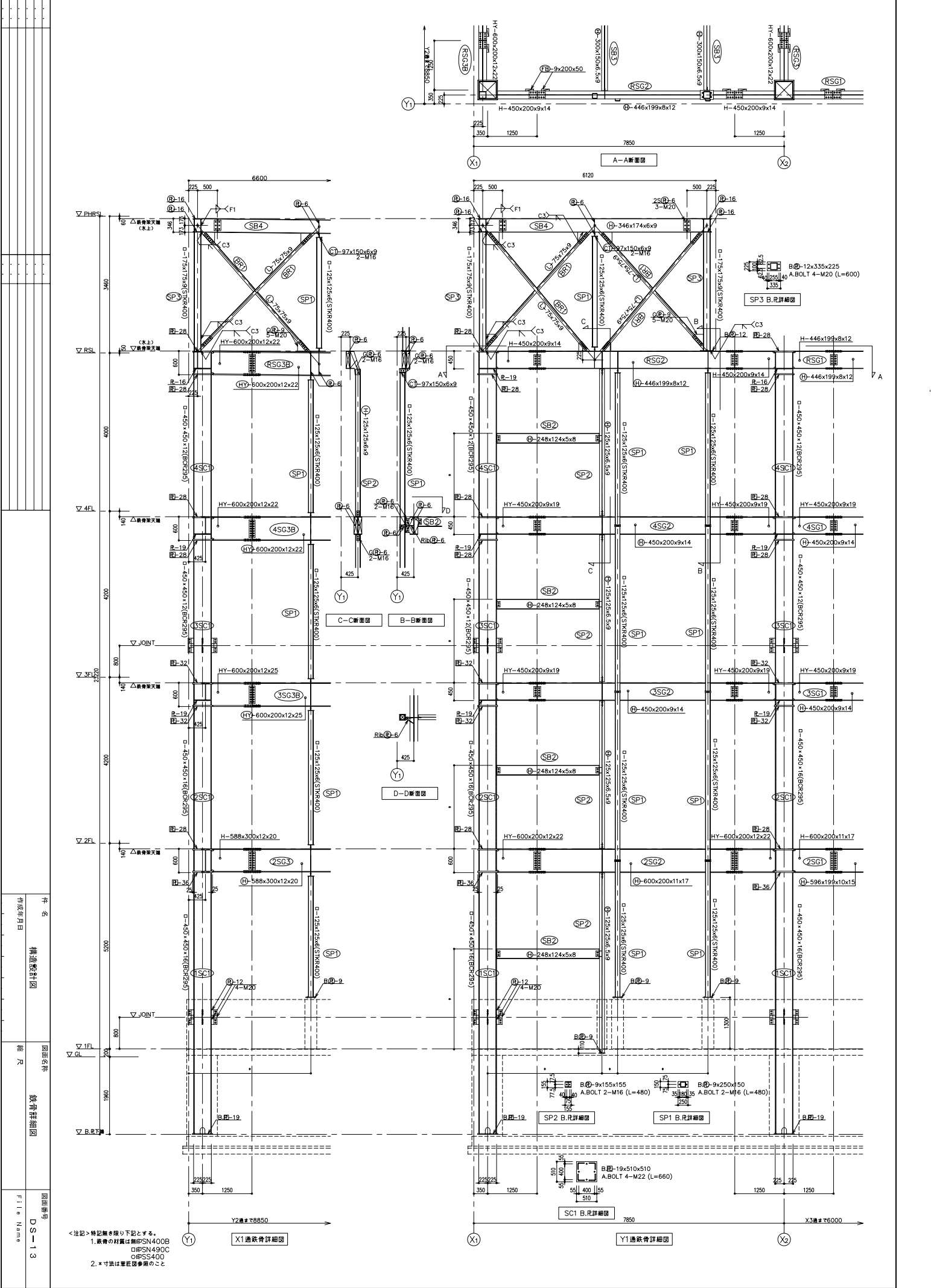


BR2接合要領図



デッキスラブ





作成年月日	構造設計図	図面名称	図面番号
		鉄骨詳細図	DS-13
File Name			

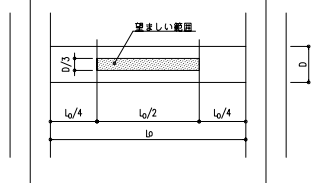
<注記>特記欄を限り下記とする。  
 1. 鉄骨の材質は無印SN400B  
 □BPSN490C  
 ○BSS400  
 2. \*寸法は単位図参照のこと



梁貫通孔補強要領

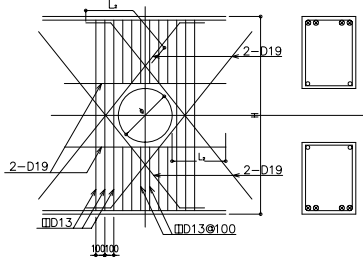
設置可能範囲

梁端部(スパンL/10以内かつ2D以内)は避ける



基礎梁貫通孔補強要領

H=2300  
φ=600 100φ以下補強不要

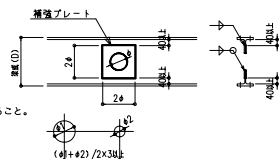


鉄骨スリーブ貫通孔補強要領

■特記欄を順に下記とする。  
1. φ<0.4D (D:梁径)

2. 補強プレートの材質は母材と同じとする。  
但し、下記の場合は補強不要  
・大梁中央部・小梁 φ<0.2D  
・大梁端部 φ<0.15D

3. 貫通孔が連続する場合は、φの3倍の間隔をとること。



4. 梁端部に貫通孔を設ける場合は、原則として柱面から貫通孔の中心まで1.2D以上離し、梁端手位置には充分留意すること

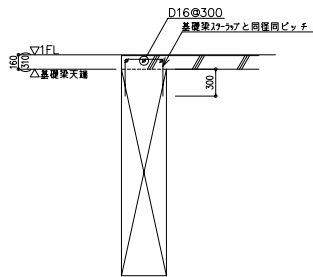
5. 貫通孔の位置については十分協議し、最終的に監理者の承認を受けること。

※1)梁径250以下の部材については、原則スリーブは不可  
※2)補強範囲A未満のスリーブは補強不要、Bを超えるスリーブは不可

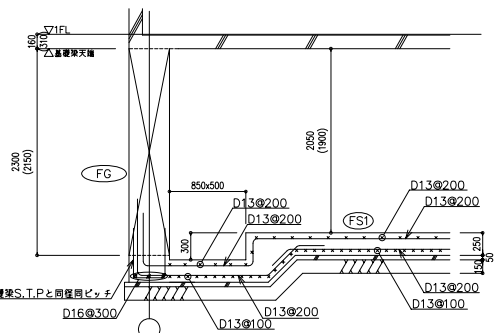
80≦φ≦100 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13@100	100<φ≦150 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13@100 横筋 2-(2-D13)	150<φ<250 斜筋 4-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13@100 横筋 2-(2-D13) 上下縦筋 ST 2-D13
φ>250 孔補強の有効範囲と定着長さのとり方 		(φ+φ)/2x3φ上 

使用部位	大梁中央部・小梁	大梁端部	備考
鉄骨断面	補強範囲 (A≦φ≦B)	補強範囲 (A≦φ≦B)	
H-300x150x 6.5x 9	60≦φ≦100	φ<60	2R-6
H-346x174x 6 x 9	70≦φ≦120	φ<70	2R-6
H-350x175x 7 x11	70≦φ≦120	φ<70	2R-6
H-396x199x 7 x11	80≦φ≦145	φ<80	2R-6
H-446x199x 8 x12	90≦φ≦170	φ<90	2R-6
H-450x200x 9 x14	90≦φ≦170	φ<90	2R-6
H-596x199x10 x15	120≦φ≦240	φ<120	2R-9
H-600x200x11 x17	120≦φ≦240	φ<120	2R-9
H-588x300x12 x20	120≦φ≦230	φ<120	2R-9
HY-450x200x 9 x19	90≦φ≦165	φ<90	2R-6
HY-600x200x12 x19	120≦φ≦240	φ<120	2R-9
HY-600x200x12 x22	120≦φ≦235	φ<120	2R-9
HY-600x200x12 x25	120≦φ≦235	φ<120	2R-9
HY-600x200x12 x28	120≦φ≦230	φ<120	2R-9

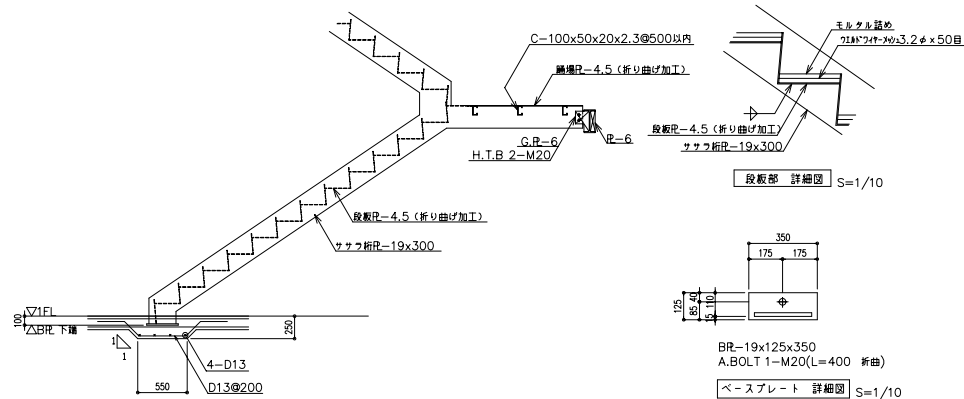
基礎梁フカシ筋要領



釜場配筋要領

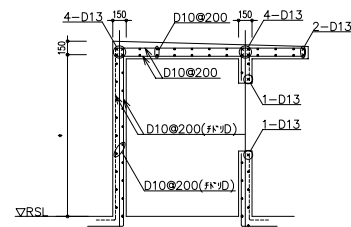


階段取合い要領

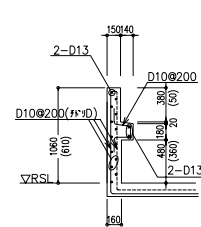


ハト小屋配筋要領

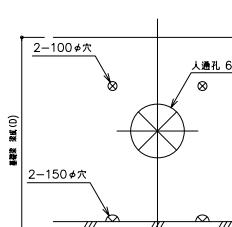
\*部分の寸法は要領図による。



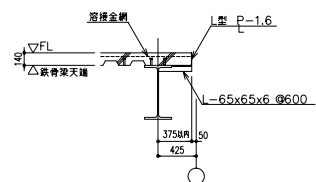
R階(PH階)バフベットの配筋詳細図



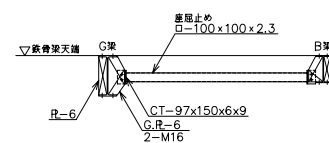
人通孔詳細図



デッキスワップ端部納まり要領

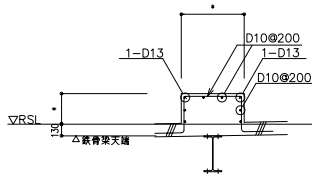


底屈止め接合部要領



設備基礎配筋

\*部分の寸法及び基礎の配筋は要領図、設備図による。



設備基礎配筋

\*部分の寸法及び基礎の配筋は要領図、設備図による。

